

Friends of Asian Students along the Tojo line
アジアの留学生と交流する会 通信

**2018年度
奨学生決定**

今年度 12 名の応募者から 6 月 3 日と 17 日の書類選考を通過した 4 名の最終候補者の面接が 7 月 8 日 (日) に行われ、今年度の 2 名の奨学生が決定しました。簡単なプロフィールをご紹介します。自己紹介の言葉、応募時の作文も準備でき次第ご披露します。第 1 回の奨学金贈呈式は 9 月 23 日のバザー会場にて行う予定です。



ラワル ブラジス ジテンダラ さん (インド、東京国際大学 1 年)

日本の文化やマナー、発展する力、そして日本語に関心を持ち、日本への留学を決めた。

国際関係、国際法、ビジネス経済等を学び、「考える力」を高めることを目指している。

将来は、インドと日本の会社のビジネスの仲を近くするような仕事をし、両方の国の経済が効率よく成長できるように貢献したい。



劉 向偉 さん (中国、大東文化大学 1 年)

国際関係学を学びながら、日本語、英語のレベルアップにも力を入れている。

広島で日本語を学び、市民が作り育てたことに共感して広島カープのファンに。

大学では赤十字奉仕団のボランティア活動にも参加している。

将来は、仕事の他に、故郷の伝統文化を継ぐ力にもなりたいと考えている。



(左：奨学生候補 4 名)



(右：面接前の説明風景)